

| 1-1 建物概要 |                  | 1-2 外観 |              |
|----------|------------------|--------|--------------|
| 建物名称     | (仮称)プレス鎌倉材木座新築工事 | 階数     | 地上4階         |
| 建設地      | 鎌倉市材木座三丁目50-1の一部 | 構造     | RC造          |
| 用途地域     | 第1種住居地域、準防火地域    | 平均居住人員 | 76人          |
| 地域区分     | 6地域              | 年間使用時間 | 8,760時間/年    |
| 建物用途     | 集合住宅             | 評価の段階  | 実施設計段階評価     |
| 竣工年      | 2019年3月 予定       | 評価の実施日 | 2016年5月15日   |
| 敷地面積     | 984㎡             | 作成者    | (株)四季建築設計事務所 |
| 建築面積     | 678㎡             | 確認日    |              |
| 延床面積     | 1,913㎡           | 確認者    |              |

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.4  
Q2 サービス性能: 3.5  
Q3 室外環境(敷地内): 3.1  
LR1 エネルギー: 3.4  
LR2 資源・マテリアル: 2.9  
LR3 敷地外環境: 3.4

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

### LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

| 3 設計上の配慮事項   |   | その他   |
|--|---|---|
| 総合<br>周辺環境との調和に配慮し、シンプルかつ上質な外観・緑豊かな環境の創出を目指す。                |   | 0   |
| Q1 室内環境<br>開口部にペアガラス、部材にはF☆☆☆☆、VOC放出の極めて少ない建材を採用し、環境に配慮している。 | Q2 サービス性能<br>居室天井高2.55m以上、階高3.06m以上を確保し、ゆとりある空間を創出する。また共用部・専有部共に維持管理等級2、劣化対策等級3を取得予定。               | Q3 室外環境(敷地内)<br>生垣など効果的な植栽を施し、緑豊かな景観を形成している。                      |
| LR1 エネルギー<br>潜熱回収型給湯器を採用し、エネルギーの有効利用を図る。LED照明器具を採用する。        | LR2 資源・マテリアル<br>内装材の更新性に配慮し、二重天井、二重壁を採用した。また、PS配管、床コログシ配管の採用することにより、内装材と設備との錯綜がなく、部材の再利用可能性向上に配慮した。 | LR3 敷地外環境<br>適切な駐車台数を確保し、周辺の交通負荷低減に配慮した。また周辺環境に対して配慮した建物ボリュームとした。 |

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される